

玖珠町地域おこし協力隊を紹介します！

—地域おこし協力隊—

地域おこし協力隊ってなに…？

都市地域からの移住者を『地域おこし協力隊員』として任命し、農業への従事、地域の魅力PR、お祭りやイベントの運営など、様々な地域協力活動を行いながら、その地域への定住・定着を図る総務省の取り組みです。

現在、玖珠町では3名の地域おこし協力隊員が活動中です。また、9月からは新たに1名が着任し、4名の協力隊員が活動を行います。町内様々な場所で活動を行っていますので、声をかけてください。

たかはし えり
高橋 恵利（29） 大分県出身

活動内容：地域振興（北山田地区）

2018年4月に着任した、高橋と申します。

以前は広島県の精神科病院でリハビリの仕事をしていましたが、長期入院となる方が少なくないという現状を見て、入院に至る前に住み慣れた地域で元気に過ごすための関わりが出来ないかと考えるようになり、その頃地域おこし協力隊という制度を知りました。そして玖珠町の「ちょうどいい田舎」というキャッチフレーズに惹かれ、移住しました。現在は北山田地区の担当をしており、コミュニティ活動の支援や集いの場の運営等をしています。

また、玖珠町の良さを町内外の方にお届けしたいという思いで、Instagramでの情報発信にも力を入れていきたいと思っています。今年は任期3年目なので、今後の方向性も考えながら活動を進めていきたいと思っています。よろしくお願いします。



「くすさんぼ」Instagram



きよたけ なおや
清武 直也（26） 福岡県出身

活動内容：地域振興（玖珠地区）

大学入学をきっかけに大分県の別府市に住み、その間に大分の素晴らしさ、田舎の素晴らしさを知りました。その後就職し、大阪でサラリーマンをしていましたが、田舎暮らしの憧れが忘れられず大分県の田舎を探していたところ、様々な縁を感じ昨年に玖珠町に移住。玖珠町には様々な観光スポットありますが、いわゆる「観光地」ではございません。だからこそ肩肘張らないあるがままの町の雰囲気は僕は大好きです。玖珠町はほんとうに素敵な町ですが、言葉ではなかなか伝わらないので、Facebookや地区の広報誌などで協力隊の活動や、玖珠町の何気ない風景を発信することで、町外の方に「玖珠町っていいところだな」と思ってもらうのはもちろん、町内の方にも「私たちの町ってやっぱりいい町なんだ」と玖珠町に住んでいることを誇りに思ってもらえるような活動をしていきたいです！！



「地域おこし協力隊」Facebook





かみのかわ ゆうすけ
神ノ川 裕輔 (37) 宮崎県出身

活動内容：観光振興

2019年4月より着任し、家族そろって玖珠町へ移住しました。主に観光振興を担当しております。

移住する前は、宿泊・旅館業や「(公社) ツーリズムおおいた」で、サービス・観光振興・地域づくりなどの業務に従事していました。1年目の昨年度は、福岡・大分県内のファミリー層向けの観光誘客や体験・イベントの企画などを実施。町内の方々ともたくさんのコミュニケーションを取らせていただいております。子どもたちがまだ小さいこともあり、移住前は生活する上で不安に思うこともありましたが、皆さんとても親切に接していただき、家族共々楽しくのびのび暮らすことができいております。

大きなミッションは玖珠町の観光振興ですが、自然や歴史・文化のみならず、生活環境としても大きな可能性を感じており、移住・定住・関係人口拡大につながる活動も計画しています。町民の皆さんや、より多くの方にもっと玖珠を知っていただき、興味を持っていただき、来て過ごしてもらうことをテーマに、情報発信や魅力発掘・企画に注力していきたいと思っております。町内でお会いしましたらお気軽にお声がけください！



玖珠のローカル情報発信
WEBサイト「in KUSU」



ファミリー層向け、玖珠町観光
情報をPRするWEBサイト
「KUSULAND」

玖珠町の情報をWEBサイト等で発信しております、ぜひご覧ください。

令和2年9月から新しく隊員が着任しました！



かねこ まさかず
金子 雅一 (40) 千葉県出身

活動内容：地域振興（森地区）

千葉県出身の金子雅一と申します。この度新たに玖珠町の地域おこし協力隊として活動させて頂きます。初めて九州に移住するのですが、玖珠町の文化や魅力を発見し、またそれを発信していきたいと思っています。

私は20代の頃、世界放浪の旅に出て30か国を訪れました。その時の体験を活かしたいと思っています。特技はコーヒーを煎れる事です。よろしくお願いします。

